

国際コロタイプ写真コンペティション
HARIBAN AWARD 2025

【募集概要】

1. ABOUT HARIBAN AWARD

便利堂が主催するハリバンアワードは、約170年の歴史をもつアナログ写真技術と、現代写真のアート性を繋ぐ取り組みです。便利堂が継承する写真古典技法「コロタイプ」を多くの写真家やアーティストに知っていただきたいとの思いから2014年にスタートしました。「玻璃（はり）」とは古い日本語でガラスを意味します。コロタイプは版にガラス板を用いることから、かつては「玻璃版（はりばん）」と呼ばれていました。

この名前に由来するこのアワードは、プロ、アマチュアを問わず白黒写真を用いて制作をする全ての写真家、アーティストに開かれています。審査には写真分野で世界的に活動するキュレーターや出版関係者、写真家の方々をお迎えし、厳正なる審査をとおして受賞者が選出されます。最優秀賞を受賞した作家は京都に招聘され、2週間の滞在期間中に熟練職人からコロタイプを学び共にプリントを制作します。

2. BENRIDO & COLLOTYPE

便利堂は1887年に創業し、1905年にコロタイプ工房を開設以来、120年に渡ってコロタイプを継承してきました。今ではコロタイプを実践する工房は世界をみても希少となりましたが、繊細で完成度の高い多色刷りコロタイプを次世代に繋ぐべく活動を続けています。

コロタイプは、1855年にフランスの科学者アルフォンス・ポアテヴァンによって発明された写真古典印画技法の一つです。当時の写真プリントは画像の保存性が低く、次第に退色・変色してしまうという欠点がありました。それを補うために顔料を用いるさまざまなプリント方法が考案され、その中で確立された技法の一つがコロタイプです。これによって高い保存性を獲得しただけでなく、ひとたび版に顔料を入れると、版画の要領で多数のプリントを制作することが可能になりました。ドイツのジョセフ・アルバートによって実用化され世界に広く普及し、アメリカから日本に伝わりました。

3. PRIZES

最優秀賞（1名）

審査員の厳正なる審査の結果、すべての応募の中で最も得票数の多かった作品が最優秀賞に選出されます。

【2週間の京都滞在】

- ・受賞作から8イメージを選び、工房の熟練職人と共にコロタイププリントを制作します。
- ・工房見学やコロタイプアカデミーの手刷りワークショップをとおして、コロタイプ技法と制作方法を学びます。ワークショップではハガキサイズと8x10inchの版が一枚ずつプレゼントされます。
- ・便利堂の社員や職人に向けたアーティストトークと交流会が開催されます。
 - ※ 2週間の京都滞在にかかる旅費、宿泊費、制作費と個展の開催にかかる費用は賞に含まれます
 - ※ 京都滞在は、2025年10月以降に日程を調整の上、決定します

【個展の開催】

制作した8点のコロタイププリントは、翌年春に開催する個展で発表します。

【公式カタログへの作品の掲載】

2026年4月に刊行されるHARIBAN AWARD 2025の公式カタログに作品が掲載されます。

審査員特別賞（4名）

それぞれの審査員は、審査に応募された全作品の中から審査員特別賞を選出します。審査員特別賞を受賞した作家は選出した審査員から選評が贈られるほか、受賞作品（3点）と略歴が HARIBAN AWARD 2025の公式カタログに掲載されます。カタログは翌春に刊行され、完成後に受賞者に謹呈されます。（使用は個人使用に限ります。）

副賞：HARIBAN AWARD 2025では、審査員特別賞受賞者への副賞としてコロタイプアカデミー*5日コースの授業料免除特典が送られます。（旅費・宿泊費は賞に含まれません。）

*コロタイプアカデミー：www.benrido.co.jp/academy

便利堂賞（1名）

便利堂賞は便利堂CEO鈴木巧によって選出されます。選評が贈られるほか、受賞作品（3点）と略歴が HARIBAN AWARD 2025の公式カタログに掲載されます。カタログは翌春に刊行され、完成後に受賞者に謹呈されます。（使用は個人使用に限ります。）

副賞：HARIBAN AWARD 2025では、便利堂賞受賞者への副賞としてコロタイプアカデミー*5日コースの授業料免除特典が送られます。（旅費・宿泊費は賞に含まれません。）

*コロタイプアカデミー：www.benrido.co.jp/academy

奨励賞（若干名）

最優秀賞、審査員特別賞、便利堂賞の受賞者決定後、上位数名に奨励賞が贈られます。受賞作品（1点）が HARIBAN AWARD 2025の公式カタログに掲載され、カタログ完成後に受賞者に謹呈されます。（使用は個人使用に限ります。）

.....

HARIBAN AWARD 2025 公式カタログ

受賞者の作品を掲載した公式カタログを出版します。カタログは全ページコロタイプで印刷され、京都の職人によって和綴の冊子に仕上げられます。

APPLICATION INFORMATION

募集期間

2025年4月1日 ~ 6月15日

※ 応募は6月15日 23:59 (JST:日本標準時) までとなります。

定刻を過ぎると応募フォームが閉鎖されますので、ご注意ください。

応募資格

不問

テーマ

自由

応募作品

8から12点の白黒写真

※ 画像最小サイズ：長辺1500px / 72dpi / sRGB, Gray

応募料

50米ドル

※ 早期割引期間：4月1日から4月30日は40米ドル

(日本標準時の4月30日23:59に50米ドルに切り替わります)

応募方法

- ①Webサイトに掲載されている”Apply” (ボタンやメニューバー) をクリック
- ②Picter社が運営する応募用フォームにログイン
- ③作品画像のアップロードと必要事項の入力
- ④応募料のクレジット決済後に応募完了

※ 入力途中の一時保存はできません。あらかじめ入力する情報や作品画像をご準備ください。

※ 一度申請が完了された内容は、再度編集することや取消しはできません。ご了承ください。

※ 重要：日本標準時 (2025年6月15日、23:59 JST) に合わせて応募を締め切りますので、日本国外から応募される場合は時差にご注意ください。締切時刻を過ぎてからの応募は受け付けません。

< 応募に必要な情報 >

プロフィール 氏名 生年月日 国籍 郵便番号・住所 E-mail Website/Social media 自己紹介 (1500字まで) 略歴 / PDFでの提出も可能	プロジェクト 題名 制作年 制作場所 作品についての説明 画像の個別説明 題名 制作年 制作場所	提出画像 8から12点の白黒写真 ※ 最小サイズ：長辺1500px ※ 72dpi ※ sRGB, Gray
---	--	---

JURORS

Martin Amis | マーティン・エイミス

写真家、出版社、書店経営者

イギリス・ケント州在住の写真家、出版社、書店経営者。写真集という媒体の意義と継続的発展に情熱を注ぎ、2007年に写真集大手販売店のひとつであるPhotobookstore.co.ukを設立した。長年にわたり多くの独立系出版社やセルフ・パブリッシングの写真家をサポートする傍ら、2021年には自身のインプリント Photo Editionsを設立。「This Land」や「Closed」など8冊の写真集を出版している。2025年には環境変化を記録する長期プロジェクトの続編として、写真集を発表する予定。

伊藤 貴弘 | タカヒロ・イトウ

キュレーター、東京都写真美術館学芸員

1986年東京生まれ。2013年より東京都写真美術館に学芸員として勤務。主な企画展に「アレック・ソス 部屋についての部屋」展、「即興 ホンマタカシ」展、「松江泰治 マキエタCC」展、「琉球弧の写真」展、「写真とファッション 90年代以降の関係性を探る」展、「小さいながらもたしかなこと 日本の新進作家 vol. 15」展、「長島有里枝 そしてひとつまみの皮肉と、愛を少々。」展、「いま、ここにいる一平成をスクロールする 春期」展などがある。女子美術大学非常勤講師。

Deborah Klochko | デボラ・クロチコ

キュレーター、サンディエゴ写真美術館(MOPA)名誉館長

2006年から2023年までローレンス・S・フリードマン・コレクション サンディエゴ写真美術館の事務局長兼主任キュレーターを務めた。教育者、ディレクター、キュレーターとして40年以上のキャリアがあり、それを通して35を超える展覧会を企画している。受賞歴のある視覚文化をテーマとしたジャーナル誌『See』の編集長も務めた。近年の企画展：バンク・オブ・アメリカの巡回展「Moment in Time: A Collection of Photographs」、「The Time Between: The Sequences of Minor White」、「Encounters: Photographs by Jed Fielding」、「Storyteller: Work by Holly Roberts」、「Picture This: Recent Acquisitions」等がある。

Sona Voss | ソニア・ヴォス

キュレーター

ソニア・ヴォスはパリとベルリンを拠点に活動するキュレーター。東ドイツの写真を探求し、Rencontres d'Arles 2019で「Restless Bodies」展を開催したほか、Editions Xavier Barral/Atelier EXB、Koenig Books、Hatje Cantzから関連書籍を出版している。その後、彼女の研究は東ヨーロッパにまで及んでいる。Rencontres d'Arles 2021ではLouis Roederer Discovery Awardのキュレーションを担当し、イザベル・ル・ミンやタラ・クライネック等のアーティストを選出。2024年にRencontres d'Arleで発表した浦口楠一作品「アマ」のように、アーカイブを掘り下げることもある。

JUDGING PROCESS

審査

全ての審査員によって審査が行われます。審査員は個々の応募作品に対し5段階評価で点数をつけ、審査期間終了後に評価がまとめられます。総合的に高いポイントを獲得した応募作品が最優秀賞に選ばれます。

決戦投票

1回目の審査期間終了後、複数の作品が最高得点に並んだ場合、決戦投票が行われます。決戦投票では、審査員は先の審査と同様に個々の応募作品に対し5段階評価で点数をつけます。その結果、得点数の最も高かった作品が最優秀賞に選ばれます。

審査員特別賞

最優秀賞決定後、最優秀賞を除く全応募作品からそれぞれの審査員が審査員特別賞を選出します。

※ 審査はオンライン上で行われ、それぞれの審査員が個別に実施します。

※ さらに、それら以外で得点数の高かった作品の上位6～9作品が奨励賞に選出されます。

SCHEDULE

公募開始：2025年4月1日

|

公募終了：2025年6月15日（日本時間 23:59）

|

審査

※ 非公開で行われます

※ ショートリストの発表はありません

|

受賞者の発表：2025年9月上旬

*重要なお知らせ：日本標準時（2025年6月15日、23:59 JST）に合わせて応募を締め切りますので、日本国外から応募される場合は時差にご注意ください。締切時刻を過ぎてからの応募は受け付けません。

FAQ

Q. 12点以上の作品を複数回に分けて応募できますか？

A. いいえ。一人につき1回の応募とします。

Q. 応募作12点はシリーズですか？ オムニバスでもいいですか？

A. シリーズでという決まりはありません。審査員がどのように判断するかはわかりませんが、シリーズでの応募が審査員に強い印象を残すのではないかと考えます。

Q. 人口知能（AI）を用いて生成し、制作された作品は応募可能ですか？

A. 応募は可能です。しかし、AIが画像を生成する上で使用した画像の著作権及びすべての権利は、応募者によって権利処理されたものであることが前提となります。

Q. ユニット（グループ）で活動しています。応募は可能ですか？

A. 応募は可能です。いずれかの方が代表となって応募してください。しかし、最優秀賞受賞時の旅費、宿泊費については、一人分の経費負担となります。

Q. ヌードや物議をかもすテーマでも応募可能ですか？

A. 基本的にどのようなテーマでも応募可能ですが、あからさまに公序良俗に反するものはお控えください。

Q. 紙焼きやスライドなど、アナログでの応募はできますか？

A. 申請は公式ウェブサイト上の応募フォームからのみとなりますので、デジタル画像に限らせていただきます。ただし、制作過程がアナログであったか、デジタルで制作されたかは問われません。

Q. 京都滞在の詳細を教えてください。

A. 最優秀賞受賞者は2025年10月以降、京都に2週間滞在し、便利堂コロタイプ工房で職人とコラボレーションしながら作品を制作をします。その後、2026年に京都市内に会場をお借りして個展を開催し、制作したコロタイププリントを発表します。

※ レジデンスや個展の具体的な日程は相談の上決定します

※ 個展期間中の作家の渡航費や宿泊費は賞に含まれません



国際コロタイプ写真コンペティション

HARIBAN AWARD 2025

主催: 株式会社便利堂

604-0093

京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町302

www.benrido.co.jp/haribanaward/

©Benrido Inc.



Follow us!